

Uganda便り⑧ ～ウガンダから～

2017. 12. 2
青年海外協力隊 田中美千恵

こんにちは。第8回目はウガンダで伝統的に作られている珍しい生地について紹介したいと思います。

ウガンダでは木の皮からできた生地（Bark cloth バーククロス）というものがあります。この伝統的な製作工程は世界無形文化遺産に登録されています。他のウガンダ隊員の任地で生産が盛んな村があり、製作工程を見学させていただきました。

バナナの木

この木の皮を使用
ムツバという名の木

バナナの木



(工程① 木の皮をはがす)



バナナの木の使用



剥いだ後
新しい外皮が再生
したきたところ

(工程② 木を保護する)



皮をはがしたら
バナナの葉でくるみ
木を保護する

クルクル丸めて
次の工程の為に
広い場所へ移動



(工程③ 木の外皮を削り取る)



(工程④ 熱湯で皮を茹でる)



次の工程の為に

茹でて

柔らかくする

(工程⑤) ハンマーで叩いて皮を伸ばす)



木でできたハンマー

ひたすら
叩いて叩いて叩いて
伸ばす

こんな感じに
なるまで叩く



(工程⑥ 天日で干す)



『最終工程』

(工程⑦ 節等の穴あき箇所を手縫いでふさぐ)



茶色（染めていない
自然な色）
の他に黒・白がある



見て下さりありがとうございました。

他の隊員がこの村の人の収入向上を目的として、
バーククロスとアフリカの伝統的な布（チテンジ）を使用したクラフト製作を支援しています